

検討状況

柏崎刈羽地域 原子力防災協議会作業部会

現時点

- ・基本構成員：関係府省庁、自治体の担当者
- ・個々の論点について、担当者間で検討
- ・地域原子力防災協議会を補佐
- ・平成27年6月～令和6年9月（計18回開催）
- ※第18回にて緊急時対応の現時点案を提示し、関係自治体等に意見を確認中

柏崎刈羽地域 原子力防災協議会

- ・基本構成員：各府省庁指定職級、副知事（関係市や電力事業者がオブザーバー参加）
- ・柏崎刈羽地域の「緊急時対応」をとりまとめ、原子力災害対策指針等に照らして具体的かつ合理的であることを確認。

原子力防災会議

- ・議長：内閣総理大臣
- ・構成員：全ての国務大臣、原子力規制委員長、内閣危機管理監等
- ・柏崎刈羽地域の「緊急時対応」が原子力災害対策指針等に照らして具体的かつ合理的となっていることについて、国として了承。

緊急時対応の現時点案のポイント

1. 能登半島地震等を踏まえた複合災害の対応策

○複合災害時の避難に係る基本的な考え方

……P38

- ・自然災害等により使用できない場合に備えて、複数の避難経路を設定 ……(PAZ)P52～55、(UPZ)P69～110
- ・道路が通行不能になった場合は道路啓開を実施 ……P39
- ・ヘリポートや港を活用した空路、海路避難等の代替避難手段を確保 ……P154
- ・不測の実態の場合は、自治体からの支援要請により、実動組織が住民避難の支援を実施 ……P155

- 家屋の倒壊など様々な理由により屋内退避が困難な場合はまずは近隣の指定避難所に避難を行い、近隣の指定避難所で屋内退避が困難な場合には、UPZ圏外の避難所の開設等を実施 ……P111

2. 豪雪の対応策

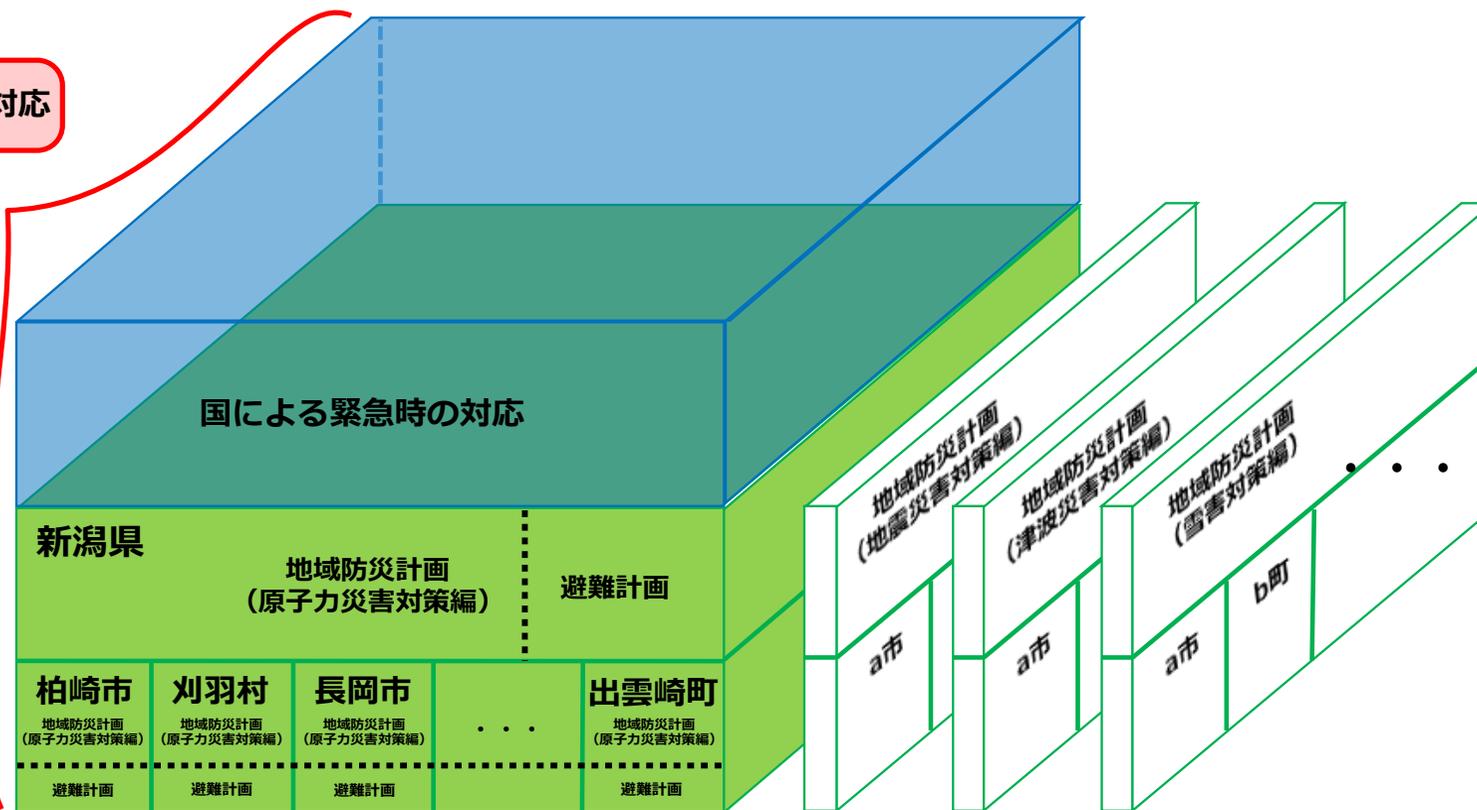
- 令和4年12月の長岡・柏崎地域の大雪を踏まえた冬期道路交通の確保等を実施 ……P41
- 除雪など地域レベルで対応が困難な場合における全国規模の実動部隊による支援を実施 ……P42
- 大雪など外出をすることで命に危険が及ぶような場合は屋内退避を優先し、天候回復など安全が確保できた場合には、原子力災害の避難を実施 ……P43

指摘事項	対応策	該当ページ
(1) 能登半島地震等地震対応		
○道路寸断	○通信連絡体制の多重化確保	17
○孤立地区	○放射線防護対策施設の多重整備	37
○家屋等倒壊	○複合災害時の避難に係る基本的な考え方	38
	○自然災害等による道路等通行不能時の復旧策	39
	○津波との複合災害時におけるPAZ内の防護措置	45
	○複数の避難経路設定	(PAZ) 52~55、(UPZ) 69~110
	○車両による避難を円滑に行うための対応策	56
	○自然災害により県内避難先が被災した場合の県外避難調整	57
	○自然災害等により屋内退避が困難となる場合の基本フロー	111
	○他の地方公共団体からの応援計画	117
	○物資、燃料の備蓄・供給体制	119~130
	○可搬型等の機動的なモニタリング体制	132~139
	○柏崎刈羽地域周辺の主な実動組織の所在状況	151
	○実動組織の広域支援体制	152
	○自然災害等により道路等が通行不能になった場合の各種支援対応	154
	○自然災害などの複合災害で想定される実動組織の活動例	155
	(2) 令和4年12月長岡・柏崎地域大雪等大雪対応	
○大雪による車両滞留	○降雪時の避難経路の確保	40
	○豪雪時の除雪体制（令和4年12月長岡・柏崎地域大雪の対応を含む）	41
	○豪雪との複合災害時における除雪体制	42
	○暴風雪や大雪時等における防護措置	(PAZ) 43、(UPZ) 112
	○積雪量が多く直ちに避難が困難な場合の対応	(PAZ) 44、(UPZ) 113
	○放射線防護対策施設の多重整備（再掲）	37

➤ 緊急時対応とは、避難計画を含むその地域における緊急時の対応。

(参考) 避難計画の策定状況

緊急時対応



自治体名	策定日
新潟県	(指針) 平成26年3月~ (計画) 平成31年3月
柏崎市	平成26年7月
刈羽村	平成26年10月
長岡市	平成27年12月
上越市	平成27年9月
小千谷市	平成28年2月
見附市	平成28年3月
十日町市	平成28年3月
燕市	平成28年5月
出雲崎町	平成27年12月